

# 個別の教育支援計画の引継ぎ

## 送る側の視点

- 保護者の方と、どんな情報を、どのように送付するかを相談することが大切です。
- こうすればできる、という手がかかりや成果を伝えましょう。

## 進学等のための引継ぎの準備を進めましょう

個別の教育支援計画を引き継ぐことは学校の大事な役割です。一人一人の状況に応じて、丁寧に引継ぎを行いましょう。

## 受け取る側の視点

- 受け取った情報を、これからの指導に活かしていくことが大切です。
- 困ったときの対処や、パニックを起こさないで済むような配慮事項等をよく聞きとりましょう。

### 幼稚園・保育所

- 就学支援シート
- 幼稚園幼児指導要録
- 保育所児童保育要録 (写し又は抄本)

### 小学校 (小学部)

- 個別の教育支援計画
- 児童指導要録 (写し又は抄本)

### 中学校 (中学部)

- 個別の教育支援計画
- 生徒指導要録 (写し又は抄本)

### 高等学校 (高等部)

### 進学先・就労先へ

必要に応じ

- 新しい学校生活がスムーズに始まるように、保護者の不安や願い、幼稚園・保育所の指導内容・配慮点等を伝えていきましょう。

- 進路が決まったら、新しい学校へ、個別の教育支援計画をどのように送付するか、保護者と相談しましょう。  
例・保護者が直接手渡す。  
・小・中学校間で事前に話し合いをして送付する。  
・4月以降の引継ぎ会で渡す。

- 高等学校への進学は、地域も違い、友人関係も違うため、生徒も保護者も様々な思いをもつ新たな学校生活の始まりです。個別の教育支援計画の引継ぎでは、同意・引継ぎ方・内容をよく保護者・生徒と相談しましょう。



#### 転学したら…

- 転学する学校へ、個別の教育支援計画をどのように送付するか、保護者と相談しましょう。
- 今の学校での状況等の情報を伝えることが、子供のスムーズな転学のために重要であることをよく説明しましょう。



「個別の教育支援計画の活用 作成と引継ぎの実際」  
東京都教育委員会印刷物登録 平成22年度 第118号  
発行 東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課  
所在地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 電話番号 03-5320-6847

# 個別の教育支援計画の活用

## ～ 作成と引継ぎの実際 ～

### ある小学校の話…

#### 2年生担任の先生



Aさんのことを、校内委員会で相談しました。「個別の教育支援計画」を作ってみようということになったけれど、担任として何を書いたらいいのか…。

#### 特別支援教育コーディネーターの先生



校長先生から特別支援教育コーディネーターの指名を受けましたが、初めてのことで、心配です。「個別の教育支援計画」の作成を、校内でどのように進めていけばいいのか…。

それでは、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターに相談してみよう。特別支援学校は地域のセンター校として、いろいろ教えてくれると思います。



特別支援学校のコーディネーター

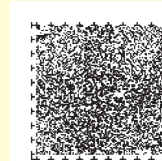
特別な支援を必要とする児童・生徒については、学校と家庭、関係機関が連携して適切な支援を行うために、「個別の教育支援計画」を作成することが求められています（学習指導要領総則等）。

では、「個別の教育支援計画」をどのように作成して、保護者に伝えていけばいいのでしょうか。通常の学級の先生方、とりわけ、初めて作成する先生方には、不安や疑問も多いことと思います。

このリーフレットは、ある小学校の若手担任と、指名されたばかりの特別支援教育コーディネーターの二人の教員が、近隣の特別支援学校の特別支援教育コーディネーターを訪問し、個別の教育支援計画作成の仕方を教えてもらう場面を紹介しています。

それぞれの学校で、このリーフレットを活用し、保護者とともに支援を進める「個別の教育支援計画」の作り方を、学んでみましょう。

平成22年12月  
東京都教育委員会



# 個別の教育支援計画の作成

担任の先生と特別支援教育コーディネーターは、特別支援学校に出向き、「個別の教育支援計画」の作り方について、相談をしました。  
二人の質問に、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターは次のように答えました。

**Q** 担任として、まず何から始めたらいいのですか？

**A** 初めに、担任として**分かっているところ、書けるところ**から書いてください。書き始める順番はあまり気にしなさい。  
書きにくいところは、特別支援教育コーディネーターと相談したり、保護者の方と話し合ったりしながら、書き込んでいけばいいのです。  
さあ、まず、鉛筆をもってみましょう。

**Q** 保護者には、どのような説明をすればいいですか？

**A** 個別の教育支援計画は、保護者と一緒に作る計画ですから、「**お子さんのこれからのことについて、学校・家庭のそれぞれの役割や目指す方向性を、一緒に確認していきましょう。**」と説明できるといいですね。  
保護者は、初めはイメージしにくいかもしれませんね。先生の下書きを見せて、保護者の考えを取り入れながら、保護者の目の前で、一緒に書いていくといいですね。  
病院で作られる「入院計画」や「看護計画」も、ケアマネージメントで作る「ケアプラン」も、家族の前で、家族の意思を確認しながら、書いていきます。

**Q** 「支援の目標」って、何を書いたらいいのですか？

**A** 1年後～3年後、「**子供がこうなっていたらいいな**」と思える姿を想像してみてください。  
その中で、学校も保護者も、お子さんのために「これならできる」という目標や内容を、記入しましょう。  
詳しく書かなくていいのです。細かなことは、個別指導計画で、書いていきましょう。

**Q** 「学校の支援」って、何を書いたらいいのですか？

**A** 学校では、「**どんな支援**」をしていきますか？  
ここでは、その基本となる方針を、書きます。  
もし通級指導学級に通っていたり、専門家チームの訪問を受けたりしていたら、**担当の先生方とよく相談**してみましょう。  
基本方針を決めるためのいい助言をいただけますよ。  
**子供が、成功体験を積み重ねていけるような方針**が書けるといいですね。

**Q** 支援機関を書く欄が、たくさんあるのですが…

**A** ここは、子供を支える関係者を、保護者と一緒に確認していきます。話し合っていくと、今まで気付かなかった人が、実は、問題解決の鍵、子供の成長に必要な役割をもっていることが分かります。  
学校の中にも、養護教諭、スクールカウンセラー、部活動の顧問、特別支援教育支援員等、かわりがある人たちがたくさんいますね。子供の味方になる人を、探していきましょう。  
でも、すべての欄を記入する必要はありません。空欄があって、後で追加をしていった方が、実用的な教育支援計画と言えるでしょう。完成した教育支援計画は、その子供だけの、「**支援の輪**」になっているはずですよ。

目標や支援の欄には **どんなことを書けばよいのでしょうか。**

個別の教育支援計画 (例)			
児童・生徒	ふりがな	やまびこ つばさ	性別
	氏名	山彦 つばさ	男
担任	氏名	海風 はるか	
在籍校	大空第一小学校	2年1組	
現在・将来についての希望			
児童・生徒	みんなと仲良くしたい。		
保護者	協調性が育ってほしい。得意なものを見つけて伸ばしたい。		
支援の目標			
自信をもって学習できるようになり、学校生活が楽しくなるように支援する。			
必要と思われる支援			
学習の手助け。衝動性をコントロールするための支援。			
学校の支援			
○個別指導計画を作成し、苦手な教科の学習を克服する。 ○成功体験の蓄積と自分の気持ちの切り替えに配慮する。			
家庭の支援			
○うまくいっていること、できることを見つけ、ほめていく。 ○いらいらしているときの気分転換の仕方を教える。			
支援機関の支援			
学校生活	支援機関:	大空第一小学校 担当者:特別支援教育コーディネーター	連絡先:
	支援内容:	○校内の先生方の調整 ○担任と家族の調整 ○個別指導計画の作成援助	
支援機関	支援機関:	そらいち学童クラブ 担当者:南	連絡先:
	支援内容:	毎週水曜日の放課後の支援	
医療機関	支援機関:	大空市こどもセンター 担当者:北斗	連絡先:
	支援内容:	本人との面談 保護者との相談	
支援機関	支援機関:	大空市立病院 担当者:	連絡先:
	支援内容:	定期通院、検査	
支援内容の評価と課題			
支援会議の記録(予定も含む)			
日時	参加者	協議内容・引継事項等	
8月25日	保護者、校長、担任、コーディネーター、相談員	①連携先の確認 ②相談センターへの紹介	
作成日	平成 年 月 日	<新規・更新(回)>	学校長 作成担当
私は、以上の内容を了解し確認しました。 平成 年 月 日 氏名			

**支援の目標**  
1～3年後の姿をイメージして、大きな目標を記入しましょう。  
(例)・自信をもって学習に参加する。  
・みんなの前で元気に発表できる。など

**必要と思われる支援**  
本人が困っていることに対して、保護者や学校ができる方針を示しましょう。  
(例)・見通しをもって生活できるようにする。  
・不安な時の対処の仕方を学習するとともに、落ち着ける場所を用意する。など

**学校の支援**  
本人のできることを伸ばすというプラスの視点で書いてみましょう。  
(例)・簡単な課題を少しずつ出して、自信をつける。  
・小さなことでもいいところをほめる。など

**家庭の支援**  
無理なく、本人も家族も取り組めるような内容を記入しましょう。  
(例)・次の日の持ち物を一緒にそろえる。  
・家族レジャーの日を設ける。など

## 個別の教育支援計画を作成するにあたって

- 保護者と相談する機会としましょう。
- 無理なく、できること、がんばれそうなことを記入しましょう。
- できないこと、困っていることよりも、こうすればがんばれる、これならできる、というプラス思考で記入しましょう。
- まず、作ってみましょう。1枚の個別の教育支援計画は、1つのネットワークを作ります。2枚、3枚と作るうちに、学校のネットワークの輪が広がっていき、困ったときに子供も、学校も多くの援助をいただけるようになるのです。

